

— 株主のみなさまへ —



# 第83期 報告書

2019年4月1日 ▶ 2020年3月31日

Be always for Customers!

井村屋グループ株式会社

あずき花

あずきの皮使用



べにこんごう  
あずき混抄紙 **紅金剛**

この株主報告書の表紙に使用している紙は、井村屋本社工場にて生あんの製造時に出るあずきの皮を有効活用しております。

証券コード 2209



## 井村屋グループ理念

井村屋グループ各社・各部門そして私たち一人ひとりの活動の原点であり、精神的支柱となるもので、以下3つの要素からなります。

### Mission ミッション(社会的使命)

「おいしい!の笑顔をつくる」

安全で安心できる楽しい商品・サービスを提供し、お客様の食生活においしい!の笑顔の輪を広げ続けることが、私たちの社会的使命です。

### Vision ビジョン(ミッションを果たす道程)

Be always for Customers!

社員一人ひとりが、いつでもお客様の立場に立って、いつもお客様のことを意識し、行動しましょう。

### Passion パッション(情熱、心意気、行動)

「イノベーション(革新)」

イノベーションの発揮には常に強いパッションが求められます。全体最適を考え、全員でイノベーションに向けて活動することが「特色経営」につながり、新しい付加価値になります。

## 株主のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
第83期(2019年4月1日～2020年3月31日)を終了し、株主報告書をお届けするにあたりご挨拶を申し上げます。

当会計年度における私たちを取り巻く経済環境は、米中貿易摩擦拡大など世界経済の不確実性に加え、新型コロナウイルスの世界的大流行(パンデミック)が及ぼす経済活動の様々な制限により、先行き不透明感が高まる状況で推移しております。

そのような経営環境の中で、中期3カ年計画「新・維新 Next Stage 2020」の2年目を迎え、活動目標として①自己成長と共育の融合への挑戦 ②全員がマーケター ③イノベーションの絶え間ない挑戦 ④「利益=売上-コスト」の基本算式を忘れない ⑤健康経営の推進の5つの目標に挑戦し、グループ全体でサステナブルな成長を志向し、事業活動に取り組んでまいりました。

残念ながら売上高・利益ともに減収・減益の結果となり株主様のご期待に沿えず、誠に遺憾に存じます。詳細な経営成績につき

まはしては次ページ以降をご参照ください。

さて、第84期(2020年4月1日～2021年3月31日)は中期3カ年計画「新・維新Next Stage 2020」の最終年度を迎えるとともに、2010年に持株会社制に移行し10年を迎えます。グループ内のシナジーを最大限に発揮してまいります。

全世界における新型コロナウイルス感染拡大は、「ニューノーマル」(新常态)の世界を作り出し、社会における生活構造を劇的に変化させると言われております。弊社におきましても大きな変革のチャンスと捉え、事業経営を行ってまいります。

新しい価値を創造し、経営理念である「おいしい!の笑顔をつくる」を提供し続けることでサステナブルな事業経営(継栄)を目指し、今期は①2N(NEXT・NEW)への挑戦 ②社会性を重視 ③次世代を意識した人財育成を重視して取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

## 連結財務ハイライト

### 売上高

単位:百万円

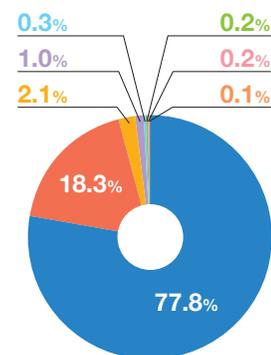
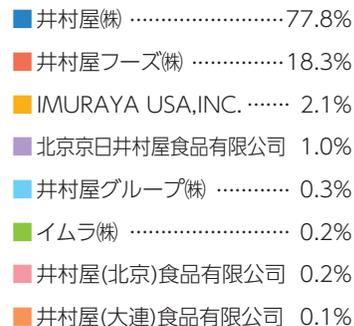


### 営業利益

単位:百万円

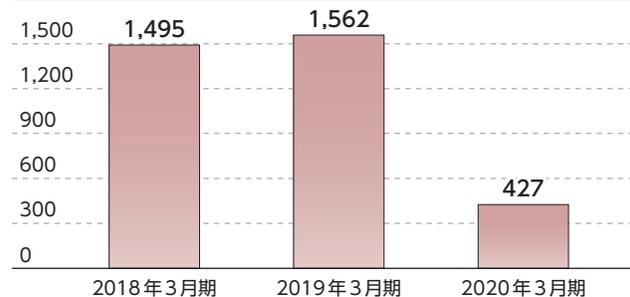


## 持株会社及び事業会社別の売上高



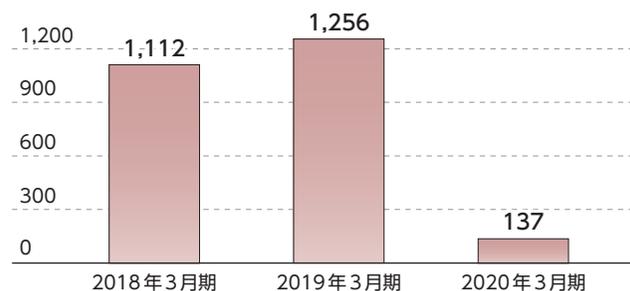
### 経常利益

単位:百万円



### 親会社株主に帰属する当期純利益

単位:百万円



## 連結貸借対照表(要約)

単位:百万円

	前連結会計年度末 2019年3月31日	当連結会計年度末 2020年3月31日
(資産の部)		
流動資産	14,764	10,032
現金及び預金	2,718	1,184
受取手形及び売掛金	7,585	5,053
たな卸資産	3,747	3,198
その他	714	596
貸倒引当金	△1	△1
固定資産	19,906	19,375
有形固定資産	17,024	16,875
無形固定資産	134	169
投資その他の資産	2,747	2,329
繰延資産	6	-
資産合計	34,676	29,407
(負債の部)		
流動負債	16,604	11,803
固定負債	2,273	2,179
負債合計	18,878	13,983
(純資産の部)		
株主資本	13,601	13,451
その他の包括利益累計額	2,167	1,902
非支配株主持分	28	70
純資産合計	15,798	15,424
負債・純資産合計	34,676	29,407

\*記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### POINT 1 資産

設備投資に伴う現預金の減少及び売掛金の回収による減少、有形固定資産の減価償却や投資有価証券の時価評価額の減少などにより総資産が圧縮されました。

### POINT 2 負債

AZUKI・FACTORYの建設費用の支払いに伴う未払金の減少や短期借入金の返済、長期リース債務の減少などにより減少いたしました。

### POINT 3 純資産

親会社株主に帰属する当期純利益が減少いたしました。

## 連結損益計算書(要約)

単位:百万円

	前連結会計年度 2018年4月1日から 2019年3月31日まで	当連結会計年度 2019年4月1日から 2020年3月31日まで
売上高	45,108	42,309
売上原価	31,020	29,565
売上総利益	14,087	12,743
販売費及び一般管理費	12,673	12,384
営業利益	1,413	359
営業外収益	198	166
営業外費用	49	97
経常利益	1,562	427
特別利益	240	255
特別損失	13	239
税金等調整前当期純利益	1,788	443
法人税等合計	531	303
当期純利益	1,257	140
非支配株主に帰属する当期純利益	1	2
親会社株主に帰属する当期純利益	1,256	137

\*記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### POINT 1

夏場に売上が減少した冷蔵カテゴリーにおいては、新商品の発売により下期では前年同期を上回りました。しかし、3月には若干ながら新型コロナウイルスによる消費マインドの低下もあり売上高は前年を下回りました。

### POINT 2

継続した生産性向上活動やSCMの強化により、諸経費が減少するとともに、コージェネレーションシステムの導入による動燃費の低減とCO<sub>2</sub>削減が図られました。一方で、主原料である小豆を中心に原材料が引き続き上昇し、製造原価が増加した結果、経常利益の減少につながりました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

単位:百万円

	前連結会計年度 2018年4月1日から 2019年3月31日まで	当連結会計年度 2019年4月1日から 2020年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,213	3,352
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,462	△ 2,497
財務活動によるキャッシュ・フロー	578	△ 2,365
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	△ 22
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 658	△ 1,533
現金及び現金同等物の期首残高	3,375	2,716
現金及び現金同等物の期末残高	2,716	1,183

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

**POINT 1 (営業活動によるキャッシュ・フロー)**

前年に比べ、売上債権の回収が進み、また、棚卸資産の圧縮により増加いたしました。

**POINT 2 (投資活動によるキャッシュ・フロー)**

前年に比べ、子会社株式の取得による支出などが増加いたしました。

**POINT 3 (財務活動によるキャッシュ・フロー)**

前年に比べ、短期借入金の返済による支出により減少いたしました。

連結株主資本等変動計算書(要約)

単位:百万円

2019年4月1日から 2020年3月31日まで	株主資本					その他の包括利益累計額						非支配 株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	2,576	3,808	7,218	△ 2	13,601	42	0	1,969	11	144	2,167	28	15,798
当期変動額													
剰余金の配当			△ 314		△ 314								△ 314
親会社株主に帰属する 当期純利益			137		137								137
自己株式の取得				△ 0	△ 0								△ 0
土地再評価 差額金の取崩			27		27								27
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						△ 119	△ 0	△ 27	△ 18	△ 100	△ 265	41	△ 224
当期変動額合計	-	-	△ 149	△ 0	△ 149	△ 119	△ 0	△ 27	△ 18	△ 100	△ 265	41	△ 373
当期末残高	2,576	3,808	7,069	△ 3	13,451	△ 77	-	1,942	△ 6	44	1,902	70	15,424

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 株式の状況

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式の総数	13,086,200株 (自己株式1,439株を含む)
単元株式数	100株
株主数	10,843名

## 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社第三銀行	588	4.49
株式会社百五銀行	578	4.42
株式会社三菱UFJ銀行	559	4.27
井村屋取引先持株会	524	4.00
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	396	3.02
株式会社りそな銀行	286	2.18
株式会社西村商店	239	1.82
株式会社三重銀行	203	1.55
三井住友海上火災保険株式会社	186	1.42
株式会社榎本武平商店	184	1.40

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

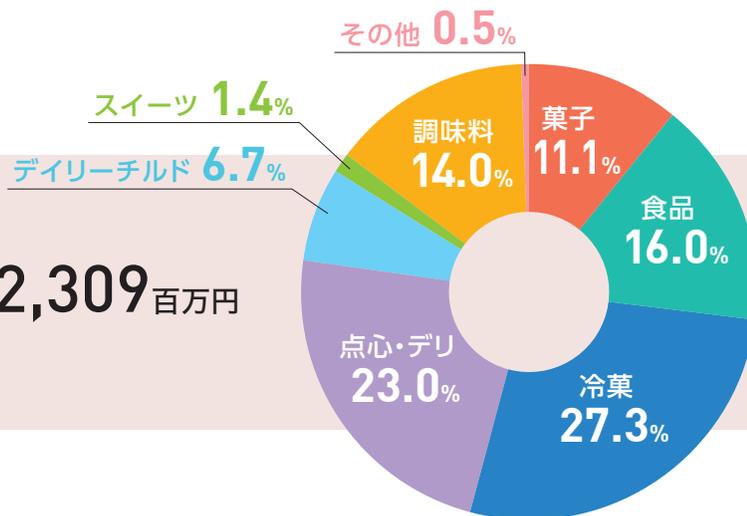
## 株主様へのインフォメーション

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月開催
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL <a href="https://www.imuraya-group.com/ir/ad/">https://www.imuraya-group.com/ir/ad/</a> (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 名古屋証券取引所 市場第一部

## (ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)に、お問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

連結売上高 42,309百万円



### 菓子 4,687百万円 (前年比188百万円(3.9%)減)

「ようかん類」では健康性や機能性をテーマに商品展開を行いました。携帯性などの機能を高めた商品「片手で食べられる小さなようかん」や「味わうようかん 薫る黒糖・濃い抹茶」が堅調に推移しました。また、新商品として「ワンッシュゼリー塩ぷるレモン・ウメ」、「もっちりぷるんわらびもち 黒糖・柚子」を発売し、順調なスタートとなりました。「どら焼」シリーズでは煮小豆を使用した「小ぶりでおいしいどら焼き」が堅調に推移しました。中国のカステラ事業では米中貿易摩擦の影響があり、米国向けの輸出が前期を下回りました。



### 食品 6,761百万円 (前年比556百万円(7.6%)減)

食品カテゴリーでは利便性のある新商品「レンジで簡単おしるこ」「レンジで簡単ぜんざい」が好評を博し、売上を伸ばしました。ロングセラー商品「ゆであずき特4号缶」は11月より容器を缶からフタ付カップに変更し、お客様の使いやすさと商品の保存性を高めました。井村屋フーズ株式会社の食品加工事業では、夏場の低温の影響を受けスパウチ商品の受注が減少しました。



### 冷菓 11,556百万円 (前年比680百万円(5.6%)減)

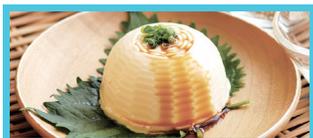
冷菓商品は主力商品「あずきバー」シリーズが最需要期である6月から7月の天候不順の影響により、上期の売上が大きく減少し、下期の売上は前年を上回りましたが、年間の売上本数は2億54百万本(前期比7.7%減)となりました。「やわもちアイス」シリーズは10月10日を「やわもちアイスの日」として日本記念日協会にて制定され、積極的な販売促進活動を行いました。「BOXやわもちアイス(つぶあんミルクカップ)」、新商品「BOXやわもちアイス(黒みつきなごカップ)」や「やわもちアイス 栗あんカップ」・「やわもちアイス さくらもち味」の売上が増加いたしました。「やわもちアイス」シリーズの売上は前期比5.3%増となりました。また、焼菓子とアイスを組み合わせた新商品「KASANEL どらやきロールアイス パンコ」 「KASANEL どらやきロールアイス いちご」も好調に推移しました。冷菓カテゴリーの下期売上は前年同期比14.9%

増と伸長し、2020年度に期待がもてる状況となっております。しかし、夏場の売上減少の影響は大きく、国内での冷菓商品の通期売上は前期を下回りました。米国でアイス事業を展開しているIMURAYA USA, INC.では、新規販売ルートの開拓に取り組みましたが、大手量販店での販売が減少しました。



## 点心・デリ 9,729百万円 (前年比1,586百万円(14.0%)減)

点心・デリカテゴリーでは、今期発売55周年を迎えた「肉まん・あんまん」が日本食糧新聞社主催の「第38回食品ヒット大賞」において、「ロングセラー賞」を受賞いたしました。家庭内需要に対応し、グレードアップした個包装の冷凍「肉まん・あんまん」が好調に推移し、今後も需要の伸びが期待されます。コンビニエンスストア向けのスチーマー商品においても、引き続き付加価値の高い商品提案を行い、好評をいただいております。しかし、記録的な暖冬の影響に加え、3月には新型コロナウイルスによる消費マインドの低下もあり、売上は前期を大きく下回りました。



## デイリーチルド 2,835百万円 (前年比2百万円(0.1%)減)

「豆腐類」の「美し豆腐」やその他の業務用商品が堅調に推移しました。「チルドパックまん」では個包装による利便性が向上した「2個入ゴールドまん」シリーズが伸長し、他社との共同開発商品の「2コ入ホットケーキまん」が好評をいただきましたが、「3個入チルドまん」シリーズは伸び悩みました。



## スイーツ 591百万円 (前年比0.3百万円(0.1%)減)

スイーツカテゴリーでは、「Anna Miller's (アンナミラーズ) 高輪店」が堅調に推移しました。「JOUVAUD (ジュヴォー)」では、「La maison JOUVAUD (ラ・メゾン・ジュヴォー) 広尾店」が7月にリニューアルオープンし、集客力の向上により売上が増加しました。前期、京都に出店した「La maison JOUVAUD 京都祇園店」、[La maison JOUVAUD JR京都伊勢丹店]はクリスマス限定商品を発売し、好評をいただきました。「La maison JOUVAUD KITTE 名古屋店」においても特長あるメレンゲ菓子の「生ロカイク」や「焼きたてフィナンシェ」がテイクアウト商品として人気を集めております。また、特色ある“アイスクリーム

和菓子”を販売している「和涼菓堂京都店」も高質なお商品が高い評価をいただいております。スイーツカテゴリーでは2月以降、新型コロナウイルスの影響を受け、出店している商業施設や百貨店の要請により、営業時間を短縮するなど、集客が減少しました。そのような状況の中、各店舗で品質管理と感染防止対策を徹底し、お客様満足の向上に努めました。「La maison JOUVAUD 広尾店」では3月においてテイクアウト商品が増加し、売上が前年を上回りました。



## 調味料 5,919百万円 (前年比228百万円(4.0%)増)

国内では井村屋フーズ株式会社のシーズニング事業において、新規市場の拡大と生産性向上に取り組みました。売上面では、新規顧客の獲得に向け、生産機能と商品特性の提案を進めました。その結果、OEM(顧客が企画された商品の受託加工)と自社素材商品の受注は前年並みでしたが、ODM(Original Design Manufacturing:当社が設計提案した商品の受託加工)の注文が前期比で2.9%増加しました。コスト面では、前期に設備投資したブレンド工場の前室倉庫が機能を発揮し、生産対応力を高め、構内物流コストの削減に寄与しています。中国での調味料事業では、北京京日井村屋食品有限公司(JIF)の積極的な

商品提案により、中国国内の売上が伸長しました。また、生産拠点である井村屋(大連)食品有限公司(IDF)では生産性向上活動により製造コストの低減が図られました。



## その他 227百万円 (前年比10百万円(4.3%)減)

イムラ株式会社において、井村屋商品のアウトレット販売を行っている「MOTTAINAI屋」は、地域住民の皆様から引き続き好評をいただきました。本社所在地である三重県津市の近鉄津駅構内に出店している「Imuraya Sweets Shop irodori」は特色のあるスイーツ商品を中心に販売し、人気を得ております。また、本社近隣のイオンスタイル津南に出店している「ソフトアイスクリーム & スイーツ店 WaiWai (ワイワイ)」では11月にオープン1周年を迎え、新商品を発売してお客様満足の向上に取り組まれました。しかし、各店舗とも2月以降は新型コロナウイルスの影響により客数が減少しました。「MOTTAINAI屋」は感染防止を考慮し、3月は休業としたため、年間の売上は前期を下回りました。

## KASANEL どらやきロールアイス いちご



焼菓子とアイスを組み合わせた新ブランド「KASANEL」に新フレーバー「いちご」が加まりました。ソース部分にとちおとめ果汁を12%使用し、苺のフレッシュな味わいをお楽しみいただけます。こだわりのどらやき生地とミルクアイス、苺ソースの重なりをお楽しみください。

## やわもちアイス わらびもち～ゆずと爽やかバニラ～ & やわもちアイス Fruits 白桃&バニラ



期間限定で2つのフレーバーが登場しました。「やわもちアイス わらびもち～ゆずと爽やかバニラ～」は、ゆずの爽やかな味わいとわらびもちのぷるんとした食感をお楽しみいただけます。「やわもちアイス Fruits 白桃&バニラ」は白桃と相性のよいバニラアイス、もちもちのおもちを組み合わせ、スイーツのような贅沢感を味わえるアイスです。

## ワンプッシュゼリー 塩ぷるレモン/塩ぷるウメ



クエン酸と塩分の補給ができる食べきりサイズのゼリーです。フィルムを切らずに食べられる「ギュッと押すだけパッケージ」を採用しています。シチリア産レモン果汁を使用した「塩ぷるレモン」と国産うめ果汁を使用した「塩ぷるウメ」の2種類をご用意しました。そのままでも冷やしてもおいしく召し上がれます。

## ソルティプラス レッドグレープフルーツ味



水に入れて混ぜるだけで簡単につくれる熱中症対策飲料です。使いやすいポーションタイプで、ご家庭でマイボトルに入れたり、外出時にペットボトルに入れたりできる便利なアイテムです。クエン酸とナトリウム入りで甘さ控えめな果汁感のある味に仕上げました。暑い夏におすすめの商品です。

## SDGsワーキンググループの立ち上げ

2019年度はSDGsに関するワーキンググループを立ち上げ、井村屋グループの課題を検討しました。従来型のCSRを進化させ、事業の成長性と社会性をトレード・オンした「サステナブル経営」を行うため、リスクに強く、発展しつづける企業体「強くて、しなやかで、魅力ある会社」を目指し、2020年度は具体的な活動を進めてまいります。すでに行っている環境保全の取り組みをさらに深めるとともに、ESG視点からの取り組みを行います。



## 食品ロス削減活動の推進



2020年3月に井村屋グループ食品ロスゼロ活動～フードロス「A to Z」～キックオフ大会を開催いたしました。井村屋グループでは、カステラの切れ端や中華まんの耳生地など、生産工程からの食品残渣が発生しております。これまで規格外品としての販売やリサイクルを行ってまいりましたが、2020年度は2019年度比50%の食品ロス削減を目標に活動いたします。



## コージェネレーションシステムの導入と バイオマスボイラの増設



井村屋グループでは2020年2月にコージェネレーションシステムを導入しました。都市ガス燃料を発電するとともに、排出される冷却水(温水)を利用してボイラ供給タンクの水を温め、排ガスにより蒸気を発生させることで、エネルギー効率の向上につなげています。また、自然災害発生時には社内の非常電源として使用するだけでなく、地域社会への電気と水の供給を行うことで、環境負荷低減と地域社会との共生を図ってまいります。

また、2019年2月にバイオマスボイラを1基増設し、これにより2019年度は年間の上記生産量のうち約72%をバイオマスボイラでまかない、全てを都市ガスで生産した場合と比較して約8,090tのCO<sub>2</sub>を削減できました。



## BOXあずきバー化粧箱 FSC®認証紙採用



2019年はBOXあずきバーシリーズのキャンペーン付化粧箱でFSC®認証紙<sup>\*</sup>を採用しました。2020年はキャンペーン付化粧箱のみではなく、通常の化粧箱も順次FSC®認証紙へ切り替えていきます。今後も地球環境に配慮した商品開発・商品提供の取り組みを拡大し、限りある資源を未来へつなげられるよう努めてまいります。

<sup>\*</sup>この紙は、国際的なNGOであるFSC®(Forest Stewardship Council®: 森林管理協議会)の責任ある森林管理や加工・流通の規格に則り認証された紙で、適切に管理されたFSC®認証林、再生資源およびその他の管理された供給源からの原材料から作られています。



責任ある森林管理のマーク

## 三重とこわか国体・三重とこわか大会への支援



2021年に開催予定の「三重とこわか国体・三重とこわか大会(全国障害者スポーツ大会)」へ合計1,000万円の寄付・協賛を行いました。地元企業として協力してまいります。



## 株主様ご優待

毎年3月31日現在及び9月30日現在の株主のみなさまに対し、ご優待品を贈呈しております。下期3月31日現在の株主様のご優待品は6月中旬頃にお送りいたしております。以下は、2020年3月31日現在の株主様を対象としたご優待品でございます。

### 100株以上500株未満の株主様

500円相当の井村屋新商品



### 500株以上1,500株未満の株主様

1,500円相当の井村屋商品オリジナルギフト



### 1,500株以上の株主様

①と②を合わせてお送りいたします。

①1,500円相当の井村屋商品オリジナルギフト



②1,500円相当のセレクトギフト

次の2種類からお一つお選びいただけます。

アイスクリーム詰め合わせ



マイギフト



※②でアイスクリーム詰め合わせをお選びいただいた場合、冷凍商品のため、オリジナルギフトとは別便にてお届けいたします。

※写真はイメージです。内容が一部変更される場合がありますので、ご了承ください。

## 持株会社 概要(2020年6月19日現在)

### 井村屋グループ株式会社

本社所在地	三重県津市高茶屋七丁目1番1号
創業	明治29年(1896年)
設立	昭和22年(1947年)4月
資本金	2,576百万円
従業員数	46名 ※グループ全体では961名(2020年3月31日現在)
事業内容	事業会社の経営管理、事業会社に対するコンサルティング、不動産の賃貸・管理
役員・執行役員	代表取締役会長(CEO)…………… 浅田 剛夫 代表取締役社長(COO)…………… 中島 伸子 代表取締役副社長…………… 前山 健 専務取締役兼上席執行役員…………… 菅沼 重元 専務取締役兼上席執行役員…………… 岩本 康 常務取締役兼上席執行役員…………… 富永 治郎 取締役兼上席執行役員…………… 大西 安樹 取締役兼上席執行役員…………… 中道 裕久 取締役兼上席執行役員…………… 岩上 真人 取締役…………… 名倉真知子 取締役…………… 西岡 慶子 上席執行役員…………… 近藤 久嗣 上席執行役員…………… 行方 貞彦 上席執行役員…………… 甲斐下方俊 執行役員…………… 井村 慎 執行役員…………… 岡田 孝平 常勤監査役…………… 脇田 元夫 常勤監査役…………… 森井 英行 監査役…………… 若林 正清 監査役…………… 橋本 陽子

(注)取締役名倉真知子・西岡慶子の両氏は社外取締役であります。  
監査役若林正清・橋本陽子の両氏は社外監査役であります。

井村屋グループ株式会社ウェブサイト  
<https://www.imuraya-group.com/>

井村屋ウェブショップ  
<https://www.imuraya-webshop.jp/>

井村屋株式会社 公式Twitter  
[https://twitter.com/IMURAYA\\_DM](https://twitter.com/IMURAYA_DM)

井村屋株式会社 公式YouTube  
<https://www.youtube.com/channel/UCoatWqjnbDnfrmkGEzehOCw>

## 事業会社 概要(2020年6月19日現在)

より詳しい内容は、各社ウェブサイト、井村屋グループウェブサイトの「グループ企業紹介」(<https://www.imuraya-group.com/outline/group/>)を参照ください。

**井村屋株式会社**  
所在地：三重県津市高茶屋七丁目1番1号  
事業内容：菓子、食品、デイリーチルド、点心・デリ、冷菓、スイーツの製造販売  
代表者：浅田 剛夫、前山 健  
<https://www.imuraya.co.jp/>

**井村屋フーズ株式会社**  
所在地：愛知県豊橋市中原町字地歩24番地の1  
事業内容：菓子、食品、冷菓、調味料、食品添加物の製造販売  
代表者：菅沼 重元  
<https://www.imurayafoods.co.jp/>

**イムラ株式会社**  
所在地：三重県津市高茶屋五丁目6番1号  
事業内容：リース代理店業務、不動産管理業務等  
代表者：池田 秀治  
<https://www.imura-kk.co.jp/>

**北京京日井村屋食品有限公司**  
所在地：中国北京市豊台区花郷羊坊308号  
事業内容：調味料の販売  
代表者：前山 健、近藤 久嗣  
<http://www.imuraya.cn/jif/>

**井村屋(北京)食品有限公司**  
所在地：中国北京市豊台区花郷羊坊308号  
事業内容：菓子、点心・デリの製造販売  
代表者：前山 健、中野 憲一  
<http://www.imuraya.cn/ibf/>

**IMURAYA USA, INC.**  
所在地：2502 Barranca Parkway Irvine, CA 92606, USA  
事業内容：冷菓の製造販売  
代表者：浅田 剛夫、甲斐下方 俊  
<https://www.imuraya-usa.com/>

**井村屋(大連)食品有限公司**  
所在地：中国遼寧省大連市旅順口区長城街道大房身村  
事業内容：菓子、調味料の製造販売  
代表者：前山 健、近藤 久嗣  
<http://www.imuraya.cn/idf/>

**井村屋(北京)企業管理有限公司**  
所在地：中国北京市朝陽区東三環北路甲19号楼9階1003内B035室  
事業内容：中国事業会社全体の資金管理及び事業戦略に関する支援業務  
代表者：富永 治郎、鈴木 和久

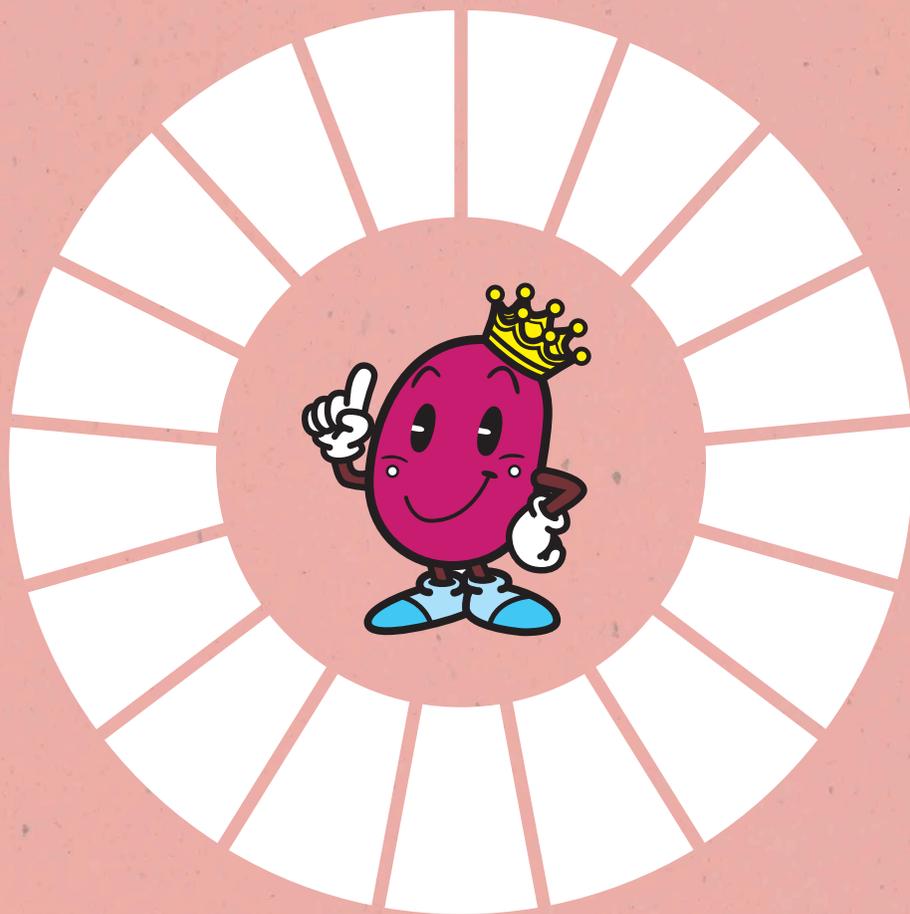
**井村屋スタートアッププランニング株式会社**  
所在地：三重県津市高茶屋七丁目1番1号  
事業内容：グループ各社が有する技術の新規事業または創業の支援  
代表者：大西 安樹



この印刷物は、植物油  
インキを使用しています。



見やすいユニバーサル  
デザインフォント  
を採用しています。



井村屋グループはSDGsの考え方に共感し  
グループ全体で社会性を重視した  
サステナブル経営に取り組んでまいります。